

森林防疫ニュース

編集 林野庁

発行 全国森林病虫獣害防除協会

1959. 9. 1

主要森林害虫被害発生分布図
(本号掲載分)



目次

解説

ストロブマツの葉さび病.....千葉 修..... 2

スギメムシガについて.....川畑 克巳..... 4

情報..... 7

刊行物紹介..... 24

解説

ストロームツの葉さび病

千葉 修

ストロームツは生長が早く、しかも形質が良いというすぐれた性質をもっているため、寒冷地に適した外国樹種として最も期待されているものの一つである。このため最近では、北海道や東北地方の各地で、植栽地が年々増加しているようである。ところでストロームツには恐ろしい病害として発疹さび病がある。この病害については、既に本誌上 (Vol. 7 No. 3 および Vol. 8 No. 1) で精細な解説がされているので、よく御承知のことであろう。幸いなことに、現在までのところ我国ではこの病害は発生していないようである。しかし、各地の新植地で針葉をおかす葉さび病が発生し、その被害もかなり大きいように思われる。

最近筆者等は、ストロームツをおかす葉さび病菌として新しい病原菌を見出したので、この病害の紹介を中心にして、ストロームツの葉さび病について簡単な説明をおこなうことにしたい。

1. 今までに明らかにされた病害発生概况と病原菌

葉さび病によるストロームツの被害を我々が始めて知つたのは一昨年6月であつた。これは群馬県小根山試験林内に1949年4月に植えられた幼令木に発生したもので註1)、恐らくこの被害の発生が我国で確かめられた始めての事例であろう。この時は種々な都合のために現地調査や接種試験をおこなわなかつたので、病原菌の種名の決定はできなかつたが、東京教育大学平塚博士の御意見によつて、一応コレオスポリウム・ユーパトリイ (*Coleosporium Eupatorii* ARTHUR) とすることにした註2)。この菌は、ヒヨドリバナ・サワヒヨドリ・フジバカマなどのヒヨドリバナ属植物を中間寄主とし、5葉松であるチヨウセンゴウの針葉をおかす菌として、古くから知られていたものである。

その後昨年には北海道山部村にある東京大学北

海道演習林内のストロームツ幼令木にかなり烈しい被害があり、また附近に自生しているヨツバヒヨドリ・ヒヨドリバナに大量の夏孢子堆の発生が見られたとのことである。同演習林の佐保春芳氏によれば、本年も被害が多く、また病原菌は接種試験の結果コレオスポリウム・ユーパトリイ菌であることが確かめられたとのことである。

東北地方での被害の状況は不明であるが、関東地方では前記小根山試験林の他に、東京大学秩父演習林内で発生が知られている。同地での被害は昨年林業試験場前田禎三技官より採集標本を頂いて知ることができた。また本年4月筆者等は同演習林を調査して、ストロームツおよびチヨウセンゴウに被害が発生していることを確めた。

ストロームツの葉さび病菌として今までに知られていたものはないが、5葉松の針葉に寄生するさび菌としては、我国では3種が報告されている。それぞれの菌名と中間寄主を第1表に示す。

第1表 5葉松の葉さび病菌

菌名	被害樹種	中間寄主
コレオスポリウム・カカリエ <i>Coleosp. Cacaliae</i>	ハイマツ	コウモリソウ・カニコウモリ・モミジガサ・ヨブスマソウなどヤブレガサ属植物
コレオスポリウム・ユーパトリイ <i>Coleosp. Eupatorii</i>	チヨウセンゴウ	ヒヨドリバナ・サワヒヨドリ・ヨツバヒヨドリ・フジバカマなどヒヨドリバナ属植物
コレオスポリウム・サウスレアエ <i>Coleosp. Saussureae</i>	ハイマツ	ホクチアザミ・ミヤコアザミ・ヒメヒゴタイ・ヤバズトウヒレンなどトウヒレン属植物

2. ヘクソカズラを中間寄主とするストロームツの葉さび病菌

本年4月林業試験場(目黒)構内苗畑で、ストロームツ2年生苗に葉さび病の被害を発見した。これは昨年10月浅川実験林苗畑より移植し

註1) この病害標本は林業試験場山路木曾男技官が採集されたものである。

註2) このことについては本誌 Vol. 6 No. 7 (1956) に簡単に紹介しておいた。



第I図 ストローブマツの葉さび病
(浅川採集)

たものであつた。ところで今まで確認された被害はすべて北海道や関東地方では小根山や秩父など、寒い地方に限られていた。これはストローブマツの植栽地との関連もあるであろうが、チヨウセンゴヨウに被害を認めない東京附近での発生はいささか意外に感じられた。また病原菌の形態を調べると、コレオスポリウム・ユーパトリイ菌とは多少異つているように思われた。浅川実験林内のストローブマツ植栽地を陳野好之技官が調べたところ、実験林内糸原見本林のストローブマツ3年生植栽木に多数の被害を認め、(第I図)同時に附近に自生しているヘクソカズラにおびただし夏孢子堆を認めた。附近にはヒヨドリバナやサワヒヨドリが点々と生えていたが、これらには夏孢子堆を全く認められなかつた。また同林内の5葉松では、チヨウセンゴヨウには病変を認めないが、ヒマラヤゴヨウとヤクタネゴヨウには少数ではあるが病葉を認めた。この調査の結果、浅川実験林で発見された病原菌は従来ストローブマツやチヨウセンゴヨウで知られていたコレオスポリウム・ユーパトリイ菌とは別の種類ではないかという疑問がもたれた。

まず形態を比較するとチヨウセンゴヨウ上の菌の方が白色膜状物(擬護膜)が大きく、また孢子堆は比較的集つて生ずる。(第II図)顕微鏡でしらべると、第2表に示すように浅川産の菌は擬護膜細胞が小形で、銹孢子の膜がうすく、大きさもやや小さい。

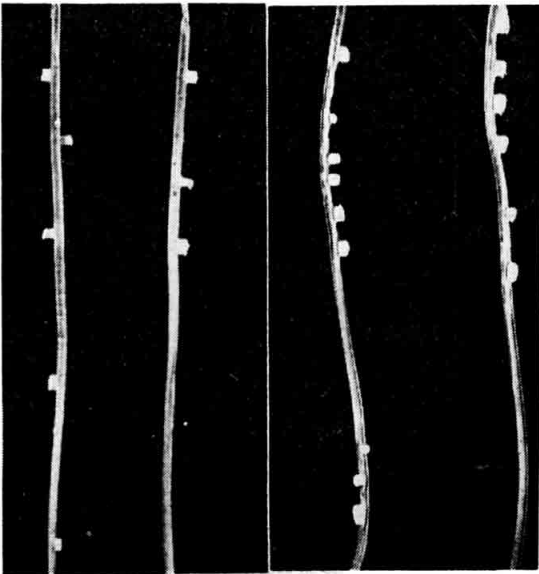
第2表 両菌の形態上の差異

	擬護膜細胞	銹孢子	銹孢子の膜厚
コレオスポリウム・ユーパトリイ(チヨウセンゴヨウ・秩父)	40~62× 28~34	22~34× 14~19	2.1~4.2
(ストローブマツ・浅川)	28~40× 18~28	15~26× 12~16	1.4~2.8

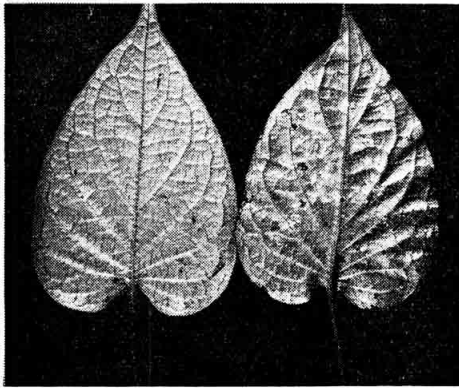
次に両菌の銹孢子をとつてヘクソカズラおよびヒヨドリバナの葉に接種をおこなつたところ第3表に示すような結果を得た。つまりチヨウセンゴヨウからとつた銹孢子は、ヒヨドリバナに病気を起こすがヘクソカズラには病気を起こさない。ストローブマツからとつた銹孢子は全く逆の結果をしめす。(第III図、第IV図)

第3表 銹孢子による接種試験の結果

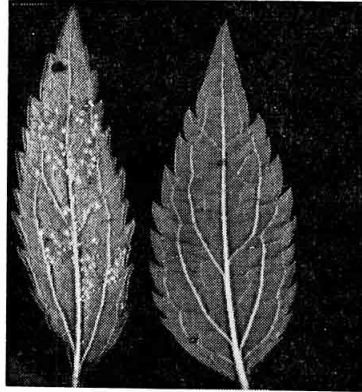
	ヒヨドリ バナ	ヘクソ カズラ
コレオスポリウム・ユーパトリイ(チヨウセンゴヨウ・秩父)	+	-
(ストローブマツ・浅川)	-	++



第II図 罹病針葉
左:ストローブマツ(浅川)
右:チヨウセンゴヨウ(秩父)



第III図 銹胞子によるヘクソカズラに対する
接種結果
左：チヨセンゴヨウの銹胞子
右：ストローブマツ（浅川）の銹胞子



第IV図 同左（接種葉はヒヨドリバナ）

以上の結果から、浅川産のストローブマツ上の葉さび病菌は、従来5葉松の病菌として知られていたコレオスポリウム・ユーパトリイとは別な種類であることが確かめられた。

ヘクソカズラに寄生する銹菌として今までに知られているものには、コレオスポリウム・ペデリアエ (*Coleosp. Paederiae* DIETEL) とプキニヤ・ゾイシアエ (*Puccinia Zoysiae* DIETEL) がある。浅川で採集した菌の形態を調べると前者と一致した。この菌は今までヘクソカズラの上で夏胞子世代と冬胞子世代を送ることが知られていたが、銹胞子世代は不明であつた。我々の実験では、まだヘクソカズラ上の冬胞子を使ってストローブマツなどに接種をおこなつていないが、今まで得られた結果からこの菌が銹胞子世代をストローブマツ・ヒマラヤゴヨウ・ヤクタネゴヨウなどの5葉松の針葉上でおくと考えてもよいであろう。

3. 対策について

ストローブマツに葉さび病をおこす病原菌には、ヒヨドリバナ属植物を中間寄主とする菌とヘクソカズラを中間寄主とする菌との2種類がある(註)。したがつてストローブマツの造林をおこなうときには、これらの植物を中間寄主とする葉さび病菌の被害発生について充分の注意が必要であろう。被害の防除にあつては、アカマツなどの葉さび病の場合と同じように、薬剤散布もさる

ことながらこれら中間寄主の除去に適切な処置が望ましい。もし可能ならば、これらの中間寄主植物が多数自生している林地を避けることがよい。このような林地に植える場合は、ストローブマツが5・6年生以上になつて、ひどい被害をうけても枯れる心配がなくなるまでは、特に入念な下刈を実行したいものである。下刈は冬胞子が作られる8月以前におこない、また下刈した草は集めて地下に埋める必要がある。下刈したままで林内に放置した場合には、その上で冬胞子が作られて感染源となる危険が非常に大きいからである。

(註) 東京大学北海道演習林の佐保春芳氏によれば、同演習林内のストローブマツには、フキの上に夏胞子世代と冬胞子世代をおくるコレオスポリウム・ベタシテス (*Coleosp. Petasitis* LéV) による被害が見られるとのことであるが、このことについては同氏の発表をまちたい。(林業試験場・保護部)

スギメムシガについて

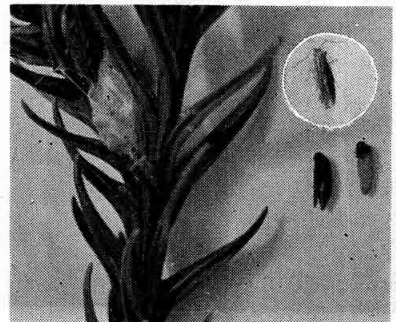
川 畑 克 巳

はじめに

マツの心喰虫の被害が多くなつているが、之と対称的にスギにはスギの心喰虫ともいふべきスギメムシガの被害が最近よく見当るようになつている。スギメムシガはスギを枯らすような激害は与えていないが頂芽部を加害するので厄介である。現在ではスギの幼令林ではどこでもざらに見られ、今後育種事業によるスギ採穂園や幼令林等では本虫の被害が問題になることが多いのではなからうかと考える。

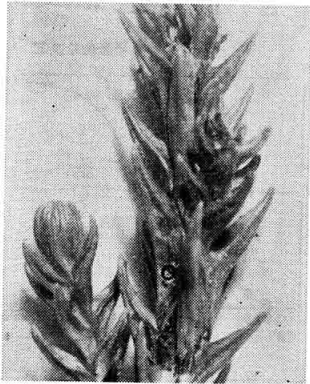
この虫は昭和 29 年 3 月大阪府立大学一色周知

博士によつて *Argyresthia anthocephala* MEYRICK と同定され、スギメムシガの和名が附されたが、本虫は MEYRICK 氏が 1936 年に竹内吉蔵博士の採



第I図 スギメムシガの繭・幼虫
蛹・成虫

森林防疫ニュース



第II図 スギメムシガの加害芽
○印……脱出孔

集した標本によつて新種として発表されたものである。筆者は鹿児島県下におけるスギメムシガの若干の生態や被害状況等について観察を試みたことがあるのでその結果を紹介する。

なお起稿に当り御懇切な御指導を頂いた一色周知博士に厚く御礼申し上げる。

被害

スギメムシガによる被害はスギの頂芽内に幼虫が潜入り髓部を食害するためにおこる。即ち芽で孵化した幼虫は頂芽に食い入り、食害を続け、糞は芽の外部に排出され、遂には1~2cmが枯れてくる。下枝に対する加害は少く、主幹となる成長良好な頂芽がよく加害され、加害された芽はそのまま伸長を停止し、その下方から再び新芽が伸びるが、被害が毎年繰り返されることになると成長が害され幹がいじけてくる。スギメムシガは1~2年のスギ幼令木から数拾年生の老木にいたるまで加害し、特に幼令林の被害が多く、そのために造林地ではスギ幼令林が、又林縁苗圃ではスギ苗の被害が問題になる。

加害の時期は鹿児島県では3~4月を除いた期間であるが、之は5月以降は令の異なる幼虫が重なりあつて見られ、又越冬幼虫も鹿児島県は温暖のためか食害を続けているからである。

なお山野ではスギタマバエと同時に加害しているのが見られるがこのスギタマバエの被害との見分け方については本紙 Vol. 5No. 1 P. 257 に加藤技官が詳しく解説されてある。

被害例として蒲生町白男の4年生スギをブロック(20m平方)を無作為にとつて調査した結果は第1表のとおりである。

又同年3月杉挿付事業のとき集められた杉穂(長さ40cm)を無作為に325本とり調査した結果は被害をうけた穂数233本この被害芽数683コであつた。

第1表 スギメムシガの加害

調査月日	調査本数	樹高	加害本数	加害芽数
昭29. 3. 5	100本	0.6~1.6m	79本	354コ
昭29. 6. 21	100	0.6~1.8m	100	3,311

被害分布

昭和27~28年に南九州一円にかなり発生したが、その後各地で被害が報ぜられている。本紙情報から拾いあげてみると第2表のとおりで、九州関西、山陽、東北地方に広く発生している

形態

成虫……体色は銀灰色で体長4mm~2.7mmで第1回目羽化のものが最も大きい。触角は体長よりやや短く約4mmで糸状暗灰色で柄節と梗節は黄色の毛で覆われる。頭部には黄色の毛が叢生し額は灰色、複眼は黒紫色前翅は開張10~15mmで銀色の光沢がある鱗片で覆われ長い灰色の縁毛がある。後翅は明るい灰色で周辺には長い縁毛をつけ前後両翅とも翅端が尖つている。腹部は銀灰色の鱗片で覆われ、脚は体と同色で中脚及び後脚の胫節には一對の長い距を有する。

卵……産下された当時は乳白色で熟すると橙黄色になり孵化前は頭部が黒色となる。卵の大きさは長さ0.4mm径0.3mm前後で卵の表面は不規則な皺があり筒形で一端はややとがり黄褐色がかつている。

幼虫……終令幼虫、4mm内外、頭部と前胸硬皮板は粘土色、胴部は乳濁色で背部は淡橙色を帯びる。鈎爪は黒色で7~10本。環状。

蛹……体長4mm~2.7mm 頭部は暗褐色。腹部は黄褐色。第2回目(5月)以降の蛹化は加害

第2表 スギメムシガ発生地

県名	発見年月日	備考
宮崎	昭29. 3. 2	蛹
群馬	31. 4. 30	
大分	31. 5. 21	
鳥取	31. 7. 5	
福島	32. 4. 28	
奈良	32. 5. 1	幼虫, 繭
秋田	31.	
岡山	32. 6. 16	
新潟	32. 7. 12	
石川	33. 8. 8	
栃木	31.	
静岡	31. 5. 20	
熊本	31. 4.	蛹
鹿児島	29. 3. 6	

第3表 スギメムシガ採集月日

虫態	場所及び年月日
成虫	蒲生町 昭和28年7月14日, 7月28日, 昭29.4.21日, 7月4日, 鹿屋市 昭29.11.9日
	蒲生町 昭29.5.1日, 9月3日, 10月15日, 10月25日, 11月24日
幼若令	蒲生町 昭29.1.14日, 2月8日, 2月20日, 5月15日, 5月18日, 5月27日, 7月28日, 8月2日, 9月29日
	蒲生町 昭29.2.18日, 3月1日, 3月6日, 3月28日, 5月22日, 5月27日, 8月12日, 8月21日, 8月23日, 9月11日

森林防疫 ニ ュ ー ス

芽から脱出して針葉の間に薄い白色絹糸状のもので繭をつくり、その中で蛹化する。蛹の大きさ4mm~6mm。

経過習性

スギメムシガの経過習性については一部調査漏れのところがあるが、鹿児島県下での経過は概略次のとおりである。

第1回の羽化は3月中下旬から徐々に始まり、最盛期が3月末、終熄期は4月中旬である。

羽化開始期から約10日で羽化最盛期となり、3月中に60% 4月中に40%が羽化している。

第2回羽化は6月上旬から始まり最盛期は6月中旬で、羽化の終熄期は6月下旬となる。第3回目以降の発生については調査資料が貧弱であるが9月上旬が3回目の発生となり、県南部の暖地方の一部では10月末に4回目の発生があると思われる。つまり、鹿児島県では年3~4回の発生を繰返しているようである。(当県でスギメムシガの標本採集は第3表のとおりである。)

蛹から羽化した蛾は約1ヶ月間生存しているが昼高温時に活動は盛んになる。交尾後雌は針葉の基部に1個ずつ産卵するが、卵は殆んど全部孵化する。卵期間は4月で14日、6月で9日前後である。孵化した幼虫は新芽の軟弱な所から食い入り髓部を食害、肥大し約1ヶ月(冬をのぞく)で老熟し、加害芽の中から脱出し下方の枝葉に下り針葉の間に白色絹状の繭をつくり、その中で蛹化する。然し春先の第1回の羽化は加害芽内で行なわれる。越冬は幼虫態で加害芽内でなされる。

スギメムシガは趨光性が強く、蛍光誘蛾灯によく集まり、家庭用電灯にも屢々飛来する。

スギメムシガの雌雄比は雌が多い。

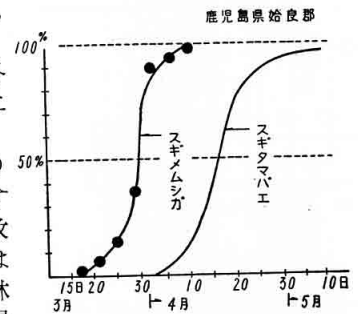
天敵

スギメムシガの幼虫蛹には種々の寄生昆虫や寄生菌がある。姫蜂科に属するものや小蜂科に属するもの3~4種を認めているが、特に蛹に対する寄生率は高い。一方寄生菌も幼虫、蛹に寄生しているのが見られるが7~8月の高温多湿時に特に寄生が激しい。

防除についての考察

当地方で行なっている防除方法は第1に幼虫蛹の捕殺、第2に施業改善である。特に第1の捕殺を重点的にとりあげているが、この方法は効果が確実であること、又幼令林では加害芽の発見が極めて容易であり、作業能率が割によいので経済効果があがる利点があるからである。捕殺の方法は幼虫又は蛹が加害芽の中に潜んでいる時期に芽もろとも摘み取り捕殺するのであるが、効果を確実にする為には虫が一斉に芽内にいる時期、つまり鹿児島県では12月から3月上旬を狙うべきで

第4表 累積羽化率



ある。夏から秋には生態の異なるものが重なったり、又蛹が被害芽の外にいたので駆除に不都合であるが、この時期は見当り次第捕殺を励行する。第2の施業改善であるが、之はスギメムシガは林地の乾湿又は陰陽

傾斜方向等による発生の差異は余り認めていないが、生育不良の幼令林では被害が多く、又被害の回復の点からも木の成長を旺盛ならしめるために下刈手入れは充分に行なう必要がある。

以上の外にスギメムシガの習性から考えられる誘蛾灯誘殺は当然行なわれてよい方法である。

又天敵昆虫や微生物については寄生率の高いものもあるが、その具体的利用法には今後の研究にまつ外ない。現在当地で行なっているのは蛹幼虫の捕殺の場合すぐ焼殺などしないで芽もろとも寒冷紗又は目の小さな網に入れて枝間に吊し天敵が野外に飛び出せるような処置をとっている。

薬剤防除については防除法が確立されていないので只習性から推察される防除上の2,3の問題点について考察するにとどめたいと思う。

スギメムシガは幼虫が芽内に潜入するためマツの心喰虫同様、幼虫期の駆除は困難ではないかと思われるから、羽化期の成虫を狙って殺虫剤を散布すればよいかと考えられる。この場合散布時期としては一斉に羽化する第1回目羽化期(鹿児島県では3月中旬~4月上旬であるが、之は勿論各地によつてかなり相違があると思われるから前もつて調査しておく必要がある)を撰ぶべきで、第2回第3回の羽化期は巾が広く時期をつかみにくい。

鹿児島県での第1回目の羽化最盛期は3月末であるが、これはスギタマバエのそれより約20日早い。(第4表参照)

当地方ではスギタマバエのBHCによる駆除を3月下旬に行なっているが、スギメムシガとの共同加害の場合、幼令林ではスギタマバエを駆除することによつてスギメムシガも同時に駆除できるのではないかと思われる。

参考文献

鹿児島県林業試験場報告第7号 4~11p
森林防疫ニュース Vol. 5, No. 11, 257p
Exotic Microlepidoptera Vol. VII, pt. 20
p. 622, March 1968

(鹿児島県林業試験場・保護 Sp.)

森林防疫ニュース

情報

◇ 被害速報

病害

○ タケの天狗巢病

発生の場所	被害程度	樹林種合	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
茨城 県下全域		マダケ 3~5年			県森林経営指導所 近藤 秀明	県下各地の屋敷林のマダケ林に発生している。激害である。

○ スギの赤枯病

福島 前橋局福島署福島事業区(安達郡大玉村)	微	スギ 2年	面積 3,300m ² 本数 6,000本	6.9	局	被害苗の抜き取り焼却をなす。
------------------------	---	----------	-------------------------------------	-----	---	----------------

○ ヒノキの赤枯病

宮崎 熊本局人吉署人吉事業区32林班(西諸県郡真幸町)		ヒノキ 34年3月 植栽	面積 7.45ha 本数 29,800本	6.8	大塚担当区 塚越 和男	被害地は標高600m位の平坦地で笹が密生しスギ伐採跡にスギを29年に植栽したが赤枯病により枯損ヒノキに改植したものであるが全域に発病したものである。
-----------------------------	--	--------------------	-------------------------	-----	-------------	--

○ カラマツの落葉病

福島 前橋局若松署若松事業区76林班月形・中野官造地(安積郡湖南村)		カラマツ 20~38年	面積 34.5ha 本数 41,300本	6.4 6.9 6.13	中野担当区 吉田 金作	激害6haは針葉の先端又は中央部に赤褐色の病斑を形成し針葉の7割は変色している。その他は中害で針葉の先端が黄色化し病状進行中。
耶麻郡北塩原村大字楡原		カラマツ 20~30年	面積 0.2ha 本数 180本	6.9	熱塩加納村 小林 作雄	国立公園の中央部のカラマツ樹冠が赤褐色となり景観を損じている。

○ 雪腐病

北海道 旭川局稚内署沼川苗畑(稚内市沼川)		トドマツ 1年	面積 1,410m ² 本数 98,700本	4.2	局	罹病苗を取り焼却し有機水銀剤有機硫黄剤等を散布土壌消毒をなす。
旭川局中頓別署下頓別苗畑(枝幸郡浜頓別町下頓別)		アカエゾ マツ 2年	面積 83m ² 本数 5,000本	4.11	局	〃
旭川局中頓別署小頓別苗畑(枝幸郡中頓別町小頓別)		アカエゾ マツ 2年	面積 167m ² 本数 38,000本	4.7	局	〃
旭川局土別署土別苗畑(土別市東八条)		エゾマツ 5年	面積 1,071m ² 本数 14,000本	4.4	局	〃
旭川局土別署塩狩苗畑(上川郡和寒町塩狩)		エゾマツ 1年	面積 100m ² 本数 57,000本	4.10	局	〃
		トドマツ 1年	面積 420m ² 本数 200,000本	4.10	局	〃
旭川局金山署占冠苗畑(勇払郡占冠村)		エゾマツ 1年	面積 104m ² 本数 80,000本	4.6	局	〃
旭川局幌加内署幌加内苗畑(雨竜郡幌加内村清月)		アカエゾ マツ 2年	面積 300m ² 本数 110,000本	4.10	局	〃

森林防疫ニュース

○ ナラタケ病

発生場所	被害程度	樹種令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
北海道 北見局紋別署鴻之舞事業区15林班(紋別市上鴻之舞)		カラマツ 4年	面積 20ha 本数 250本	6.10	鴻之舞担当区 平山 幸市	点状に発生枯死する。樹幹地際部を剥皮すると白色菌糸層及び黒褐色の菌糸束が見出される。被害木は抜取り焼却する。

虫害

○ トドノネオオワタムシ

北海道 旭川局幌加内署幌加内苗畑(雨竜郡幌加内町)		トドマツ 3~4年床替苗	面積 7,000m ²	6.10	幌加内署 嵯峨 久作	開葉後その先端芽部に寄生し生長を著しく阻害している。
函館局八雲署八雲事業区63林班(山越郡八雲町)		ヤチダモ 23年	面積 1ha 本数 2,000本	6.10	八雲署 谷川 昇	新芽及び葉に寄生し、葉は捲縮している。

○ マツノワラジカイガラムシ

三重 員弁, 三重郡		アカマツ 幼令林		6.上	四日市市 加藤 寛昭	
---------------	--	-------------	--	-----	---------------	--

○ クワカイガラムシ

奈良 五条市大島町		日本ギリ 4年	面積 0.15ha 本数 10本	6.2	五条市 Ag. 森 弼好	樹皮表面に白く附着している。昨年度被害木1本は枯損。機械油乳剤が硫黄合剤で駆除。
--------------	--	------------	---------------------	-----	--------------	--

○ スギノマルカイガラムシ

鹿児島 加世田市大字津貫		オビスギ 4年	面積 0.5ha 本数 2,500本	6.4	加世田農林事務所 Ag. 植木 文夫	谷間のスギ林に発生、1割内外は激害である。被害枝の除去をなす。
-----------------	--	------------	-----------------------	-----	--------------------	---------------------------------

○ カイガラムシ類の1種

新潟 南魚沼郡六日町		キリ 7~8年	面積 0.9ha 本数 500本	6.1	六日町 Ag. 久保 益偉	被害地は開こん後キリを植栽した所で被害程度は中書石灰硫黄合剤散布。
---------------	--	------------	---------------------	-----	---------------	-----------------------------------

○ キマダラコウモリ

静岡 東京局静岡署富士事業区(吉原市)		スギ 3年	面積 0.12ha 本数 392本	4.29	局	枯損している。抜取り焼却
東京局静岡署富士事業区(吉原市)		ヒノキ 3~5年	面積 0.63ha 本数 2,099本	4.29	局	枯損しているのを発見。抜取り焼却。
東京局静岡署富士事業区(吉原市)		ヒノキ 9, 10年	面積 0.22ha 本数 740本	4.29	局	抜取り焼却をなす。

○ ホソガ科の1種

北海道 河東郡音更町	激	カシワ 16~20年	面積 15ha 本数 30,000本	6.15	道	葉に穿入葉肉を食害しているが現在虫は脱出している
---------------	---	---------------	-----------------------	------	---	--------------------------

○ カラマツツミノガ

北海道 旭川局稚内署稚内事業区(稚内市)		信州カラマツ 6~8年	面積 100ha 本数 258,100本	6.1	局 稚内署 竹田 和夫	始めて被害が発生した。BHC 乳剤散布。
旭川局稚内署稚内事業区(稚内市)		グイマツ 31年	面積 41.91ha 本数 30,890本	6.7	〃	成虫飛翔最盛期に BHC 燻煙剤防除。

森林防疫ニュース

発生場所	被害程度	樹種令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
北海道 旭川局下川署三の橋苗畑(上川郡下川町)		信州カラマツ 19年	面積 0.36ha 本数 450本	5.23	局	苗畑防風林に発生し、現在幼虫が食害中である。
旭川局古丹別署古丹別事業区(苫前郡苫前町)		信州カラマツ 49年	面積 7ha 本数 5,520本	5.23	局	防風保安林に発生したものである。一部蛹化したものもある。
岩手 青森局盛岡署姫神事業区59林班(岩手郡滝沢村)		カラマツ 31年	面積 0.2ha 本数 500本	6.10	滝沢村 近藤 正	針葉を食害し蛹化し食害された葉は黄色化している。林縁木に被害が大きい。針葉は赤褐色に変じ蛹化しているものもある。毎年発生し32年度も燻煙剤により駆除したが引き続き発生するので、天敵も調査し合せて防除する。 35年度 BHC 粉剤散布予定。
福島 前橋局猪苗代署猪苗代事業区(耶麻郡猪苗代町)	激	カラマツ 1~5年	面積 53.48ha 本数 107,000本	6.4	局 ~6	〃
前橋局猪苗代署猪苗代事業区(耶麻郡猪苗代町)	激	カラマツ 6~10年	面積 45.19ha 本数 90,000本	6.4	局 ~6	〃
前橋局猪苗代署猪苗代事業区(耶麻郡猪苗代町)		カラマツ 11~20年	面積 10.13ha 本数 26,000本	6.4	局 ~6	〃
前橋局猪苗代署猪苗代事業区(耶麻郡猪苗代町)		カラマツ 21~30年	面積 91.76ha 本数 92,000本	6.4	局 ~6	〃
前橋局猪苗代署猪苗代事業区(耶麻郡猪苗代町)		カラマツ 31~40年	面積 97.73ha 本数 69,000本	6.4	局 ~11	〃
前橋局猪苗代署猪苗代事業区(耶麻郡猪苗代町)		カラマツ 41~50年	面積 254.09ha 本数 152,000本	6.4	局 ~11	〃
前橋局猪苗代署猪苗代事業区(耶麻郡猪苗代町)		カラマツ 51~60年	面積 91.98ha 本数 46,000本	6.4	局 ~11	〃
前橋局猪苗代署猪苗代事業区(耶麻郡猪苗代町)		カラマツ 41~50年	面積 21.02ha 本数 48,000本	6.4	局 ~11	〃
前橋局猪苗代署猪苗代事業区(耶麻郡北塩原村)		カラマツ 32年	面積 1ha 本数 50本	6.8	局	針葉は赤褐色を呈している
前橋局福島署福島事業区(福島市二本松)		カラマツ 50年	面積 32ha 本数 40,000本	5.28	局	針葉を食害し黄色化している。蛹化中。成虫発生時燻煙防除を行う。
長野 長野局白田署白田事業区108林班(南佐久郡白田町)		カラマツ 8~9年	面積 44.84ha	6.9	白田担当区 星 富衛	昭和33年度においても発生を見ている。針葉を食害しているが枯損のおそれはない。

○ ハイイロアミメハマキ

福島 南会津郡田島町藤生		カラマツ 5~20年	面積 5ha	6.1	田島林業事務所	官行造林地に発生している
群馬 前橋局若松署若松事業区(南会津郡田島町)		カラマツ 21~30年	面積 1ha 本数 800本	5.26	局	孵化直後で枝条に止まり新芽を食害している。燻煙剤により駆除す。

○ マツマアカシクイ

福島 前橋局原町署原町事業区(相馬郡小高町村上)		クロマツ 2年	面積 3.38ha 本数 3,000本	6.8	小高担当区 門馬 勝	新芽の梢端部より樹幹下部へ食害しつつある。BHC 乳剤を散布。
-----------------------------	--	------------	------------------------	-----	------------	---------------------------------

森林防疫 ニ ュ ー ス

○ カラマツイトヒキハマキ

発生 の 場所	被害 程度	樹 林 種 令	被 害 数 量	発見 月 日	情報提供者氏名	摘 要
群 馬 前橋局中之条署 中之条事業区 (吾妻郡吾妻村)		カラマツ 20~50年	面積 490ha 本数 480,000本	5.25 ~6.8	局	被害地は標高900mの南及び南東斜面で幼虫が新葉食害中。重点的に燻煙筒110本で駆除。
新 潟 前橋局高田署高 田事業区(中頸 城郡妙高高原 町)		カラマツ 37~38年	面積 20ha 本数 8,000本	6.18	局	針葉を食害し1部蛹化準備中。燻煙筒により駆除。
長 野 長野局岩村田署 岩村田事業区 144林班(北佐久 郡浅間町東村)		カラマツ 11~60年	面積 238.14ha 本数 67,035本	6.2	岩村田署	内堀 祐治 現在若令幼虫が食害中のため被害は軽微であるが蔓延のおそれがあるので燻煙筒により駆除を行う。
長野局岩村田署 岩村田事業区49 林班(北佐久郡 軽井沢町)		カラマツ 10~60年	面積 258.74ha 本数 99,043本	6.9	岩村田署	内堀 祐治 被害程度は激及び中害で幼虫は0.5~2.0cmの大きさである。BHC粉剤又は燻煙筒により駆除を行う予定。
長野局岩村田署 森山官造地 (北佐久郡御代 田町茂沢)		カラマツ 31~37年	面積 190.03ha 本数 78,350本	6.13	岩村田署	内堀 祐治 被害は中害43.93ha、微害146.10haで若令幼虫が食害中。

○ ハイイロアミメハマキ

○ カラマツイトヒキハマキ

長 野 上高井郡東村仁 礼		カラマツ 3~30年	面積 20ha 本数 45,000本	6.4	上高井地方事務所 村石 廉造	新葉の中心部から食害を受け茶褐色に変色している。
---------------------	--	---------------	-----------------------	-----	-------------------	--------------------------

○ カラマツツツミノガ

○ ハイイロアミメハマキ

○ カラマツイトヒキハマキ

群 馬 前橋局草津署草 津事業区(吾妻 郡嬭恋村)		カラマツ 3~49年	面積 60ha		局	東南面への傾斜地で針葉を食害され黄色を呈している発見と同時に燻煙筒により駆除。
------------------------------------	--	---------------	---------	--	---	---

○ マツノコマダラメイガ

長 崎 熊本局長崎署長 崎事業区88林班 (島原市)		アカマツ、 クロマツ 10~15年	面積 0.3ha	6.10	島原担当区 戸高 重盛	新芽を1本当たり8~15本食害している。被害部を除去焼却をなす。
大 分 東国東郡国東町		クロマツ 5年	面積 0.1ha 本数 400本	6.10	県	新梢を幼虫が加害している被害部の除去焼却。

○ マツカレハ

青 森 八戸市大字河原 木字浜名谷		アカマツ、 クロマツ 21~30年	面積 5ha 本数 10,000本	5.13	県	体長7~10cm位で針葉を食害している。幼虫・蛹の捕殺を行う。
上北郡六ヶ所村 大字平沼		クロマツ 9年		6.15	六ヶ所村 出町喜佐美	防風保安林に発生したもので1本当たり5~10匹で食害
岩 手 和賀郡東和町大 字ヘウガ森		アカマツ 4~6年 カラマツ 5年	面積 7ha	6.7	東和町 加藤 公男	アカマツ天然下種地にカラマツ植栽木があり藪状になっているのに1本当たり20匹位で食害している。
和賀郡東和町大 字土沢		アカマツ 4~7年	面積 2.64ha 本数 20,000本	6.9	東和町 渡辺 栄	新芽を残して殆んど食害している。

森林防疫ニュース

発生場所	被害程度	樹令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
宮城		青森局気仙沼署 気仙沼事業区 (本吉郡唐桑町)	アカマツ 25~48年 面積 62ha 本数 12,396本	6.1	唐桑担当区 小岩 喜一	針葉を食害している。被害程度激中害 39ha に BHC ha 当り 30kg 散布。
		青森局中新田署 中新田事業区 (志田郡松山町)	アカマツ 27~30年 面積 65ha 本数 130,000本	6.10	中新田担当区 山本 和徳	当該地は31年度発生し激害地は団状的に枯死したがその後被害は少なく本年度になつて1本当り 20~30 匹で針葉を食害している。
山形	激	玉造郡岩出山町 大字真山	カラマツ 4~5年 面積 2ha 本数 9,000本	6.11	古川農林事務所 阿部 令五	新葉を食害している。
		玉造郡岩出山町 大字山崎	カラマツ 6~8年 面積 3ha 本数 9,000本	6.11	古川農林事務所 阿部 令五	
山形		秋田局米沢署季 川官造地(西置 賜郡飯豊町)	アカマツ 23~25年 面積 10ha 本数 15,000本	6.10	米沢署長 菱田 敬三	32年度附近民有林に発生激害をうけ駆除したが本年になり当該地へ発生した。
		西置賜郡飯豊町 大字添川	アカマツ (天) 3~15年 面積 19.28ha	6.13	県	群状に食害している。食害が甚だしく生育を阻害されている。BHC γ 3% 粉剤散布。
福島		米沢市大字長平 字海上	アカマツ (天) 15~80年 面積 100ha	6.25	県	
		東置賜郡高島町 大字左沢	アカマツ (天) 15~80年 面積 50ha	6.25	県	現在蛹化中である。次期発生期に燻煙剤により駆除予定。
福島		二本松市大字塩 沢	アカマツ 8年 面積 5ha 本数 20,000本	6.3	二本松市 Ag. 金沢 俊士 県	密生して害虫のつき易い状態である。被害地附近は桑園が多く壮蚕に影響するため水和剤で駆除。
		前橋局喜多方署 喜多方事業区 (耶麻郡塩川町)	アカマツ 8年 面積 1.5ha 本数 アカマツ 1,000本, カラ マツ 2,000本	6.4	喜多方担当区 加藤 通 局	カラマツは針葉の殆んどを食害され枯損のおそれがある。BHC γ 3% 粉剤を ha 当り 21kg 散布。
福島		前橋局福島署福 島事業区79林班 (安達郡大玉村)	アカマツ 60年 面積 1ha 本数 50本	6.9	玉井担当区 佐藤 孝一 局	苗畑附属地中のマツに発生し現在 6~7 令で針葉を食害している。
		前橋局平署平事 業区(石城郡好 間村)	アカマツ 33年 面積 2ha 面積 3ha	6.初局	局	燻煙剤による防除見込。
福島	中微	前橋局平署平事 業区(内郷市白 水町)	アカマツ 27年 面積 3ha	6.初局	局	官行造林地に発生、加害は微少であるが燻煙剤により防除予定。
		前橋局平署平事 業区(石城郡四 ツ倉町)	クロマツ (天) 5~300年 面積 0.1ha 面積 2ha	6.初局	局	幼令林を除いては加害は微少であるが蔓延のおそれがあるので防除予定。
福島	激	前橋局坂下署 坂下事業区(河 沼郡会津坂下 町)	アカマツ (天) 41~50年 面積 47 ha 51~60年 面積 108 ha 71~80年 面積 9 ha	6.22	局	被害林分は壮老令木で生育は多少阻害されるものと思われるが枯死するおそれはない。現在蛹化直前であるので秋季燻煙剤により防除見込。
		前橋局福島署福 島事業区(信夫 郡吾妻村)	カラマツ 5~10年 面積 1ha	5.18	局	苗畑防風林に発生、現在捕殺中であるが BHC γ 3% 粉剤散布予定。
福島		前橋局喜多方署 喜多方事業区 (耶麻郡西会津 町)	アカマツ 27~34年 面積 124ha	4.下局	局	広葉樹が混交している林分に発生、被害の特に甚だしい地域 5ha を燻煙剤駆除。
		伊達郡飯野町大	アカマツ 面積 124ha	5.23	県	BHC γ 3% 粉剤散布。

森林防疫ニュース

発生 の 場所	被害程度	樹 種 令	被 害 数 量	発見月日	情報提供者氏名	摘 要	
福 島	字青木	(人) 6~10年 アカマツ (天) 6~10年	本積 13,000本 面積 5ha 本数 12,000本	5.23	県		
	福島市岡部字五本松	アカマツ 18年	面積 2ha 本数 8,000本	5.26	県	BHC γ 3%粉剤 ha 当り 30 kg 散布予定。	
	福島市信夫山	アカマツ 4年	面積 1ha 本数 4,000本	6.9	県	市内公園地の生育不良林分に発生 BHC 粉剤散布予定。	
	双葉郡広野町下北迫	アカマツ (天) 20~40年	面積 15ha 本数 19,500本	5.19	県	平地のアカマツ林に発生。薬剤駆除予定。	
茨 城	東京局高萩署高萩事業区(多賀郡十王町)	アカマツ クロマツ 8年	面積 14.29ha 本数 10,000本	5.27	局	29年以来連年発生している BHC γ 3%粉剤散布予定。	
	東京局高萩署高萩事業区(北茨城市中郷町)	クロマツ (天) 37~47年	面積 0.99ha 本数 1,000本	5.29	局	32年度より多少の被害があつた。BHC γ 3%粉剤散布予定。	
	東京局高萩署高萩事業区 254 林班(高萩市赤浜)	アカマツ クロマツ (天) 66~135年	面積 1.5ha 本数 1,000本	6.3	局 高萩署	石原 桂三 潮害防備保安林に発生。被害は幼令に多く壮令木には少い。BHC 粉剤散布。	
	北茨城市中郷町大字日棚	アカマツ 6~10年	面積 0.05ha 本数 500本	6.9	水戸支庁高萩支所 磯原駐在所	現在蛹化している。	
	東茨城郡下	アカマツ 8~12, 25年	面積 40.66ha 本数 210,200本	4.25 ~5.20	県	16ha BHC 粉剤及び燻煙剤により駆除。	
	那珂郡那珂町, 瓜連町	アカマツ 1~55年	面積 57.53ha 本数 130,700本	4.20 6.5	県	BHC γ 3%粉剤散布。	
	勝田市	アカマツ 6~25年	面積 69.44ha 本数 250,000本	5.2 6.4	県	BHC γ 3%粉剤及び燻煙剤駆除。	
	日立市	アカマツ 5~20年	面積 2.97ha 本数 3,000本	5.11	県	6月中旬 BHC γ 3% 粉剤散布。	
	高萩市	アカマツ (天) 5~20年	面積 1.98ha 本数 2,000本	5.12	県	〃	
	笠間市	アカマツ 5~10年	面積 14.88ha 本数 75,000本	4.10	県	5月下旬 5ha を BHC γ 3% 粉剤で駆除。	
	西茨城郡	アカマツ 5~20年	面積 59.44ha 本数 300,000本	4.10 ~20	県	5月中旬に 36ha BHC γ 3% 粉剤及び燻煙剤駆除。	
	鹿島郡	クロマツ 8~30年	面積 152ha 本数 719,000本	5.4 ~20	県	BHC γ 3%粉剤により 102 ha 駆除。	
	行方郡	クロマツ 10~13年	面積 57.9ha 本数 282,000本	5.22 5.25	県	BHC γ 3% 粉剤により 31 ha 駆除。	
	土浦市	アカマツ 5~30年	面積 99.2ha 本数 350,000本	5.1	県	BHC 粉剤により 10 ha 駆除。	
	新治郡	アカマツ 5~25年	面積 248ha 本数 750,000本	5.1	県	BHC 粉剤又は燻煙剤により 136ha 駆除。	
	筑波郡	アカマツ 5~40年	面積 241.05ha 本数 729,000本	5.1	県	BHC γ 3% 粉剤により 180 ha 駆除	
	北相馬郡安谷町取手町	アカマツ 6年	面積 5.95ha	5.1	県		
		クロマツ 7年	本数 4,700本				
		アカマツ 5~30年	面積 133.92ha 本数 400,000本	4.15 ~16	県	BHC 粉剤により 74 ha 駆除。	
竜ヶ崎市	アカマツ 4~30年	面積 16.86ha 本数 50,000本	4.16	県	BHC 粉剤により 3ha 駆除。		

森林防疫 ニ ュ ー ス

発生 の 場所		被害 程度	樹 林 種 令	被 害 数 量	発見 月日	情報提供者氏名	摘 要
茨 城	下妻市		アカマツ 5~18年	面積 34.72ha 本数 140,000本	4.20	県	24ha BHC 粉剤散布。
	真壁郡		アカマツ 5~20年	面積 102.16ha 本数 414,000本	4.20	県	BHC 粉剤により 33 ha 駆除。
	下館市		アカマツ 5~18年	面積 31.74ha 本数 132,900本	4.20	県	17ha BHC 粉剤散布。
	結城郡		アカマツ 5~20年	面積 81.34ha 本数 328,000本	4.20	県	52.5ha BHC 粉剤散布。
	結城市		アカマツ 5~20年	面積 7.93ha 本数 32,000本	4.20	県	BHC 粉剤により 3ha 駆除。
	猿島郡		アカマツ 12・14年	面積 138.88ha 本数 840,000本	5. 1	県	BHC 粉剤 127 ha 散布駆除。
	行方郡北浦村		クロマツ 15年	面積 1.98ha 本数 500本	6.10	県	BHC γ 3%粉剤散布。
	東茨城郡内原村		アカマツ 8~15年	面積 2.23ha 本数 18,500本	4.15	県	〃
	東茨城郡茨城町		アカマツ 8~12年	面積 2.18ha 本数 12,600本	4.20	県	〃
	栃 木	東京局笠間署笠間事業区(芳賀郡益子町)		アカマツ (天) 9年	面積 2ha	5. 9	局
前橋局村上署村上事業区48林班(岩船郡朝日村)			アカマツ 5年	面積 0.5ha 本数 300本	6. 9	局 三面担当区 佐藤 隆夫	針葉を食害している。1本に2匹程度寄生している。
愛 知	新城市		マ ツ 5~15年	面積 100ha	5. 1	新城市 井原 敏雄	天然生松林に多く発生し周辺に広がり発生地は枯死の状態である。現在蛹化中。1部燻煙剤駆除。
	新城市稲木・八名井町		アカマツ (天) 5~10年	面積 20ha 本数 70,000本	6. 1	県新城事務所 鈴木佐武郎	現在 4~5 令で針葉を食害。燻煙剤により駆除。
	東加茂郡下山村大字花沢		マ ツ 4~50年	面積 11ha 本数 25,540本	6. 5	県足助事務所 那須 肇	針葉を食害、被害は中害である。
三 重	一志郡白山町福田山・大原		マ ツ 面積 450ha 本数 1,800,000本	6. 5	白山町 Ag. 犬藤 潔	昨年発生燻煙剤駆除したが本年も発生している。	
奈 良	御所市大字重阪		アカマツ 11~20年	面積 10ha 本数 20,000本	6. 9	御所市第 6 森林区 Ag. 中谷 勲	丘陵地帯の松の天然林に発生している。昨年は近辺に発生した。BHC γ 3%粉剤散布。
大 阪	北河内郡交野町		アカマツ 5~20年	面積 25ha 本数 70,000本		府	BHC 粉剤散布駆除
	枚岡市		アカマツ クロマツ 5~50年	面積 25ha 本数 50,000本		府	昭和32年度一部駆除。BHC 粉剤及び燻煙剤にて駆除。
	柏原市		アカマツ クロマツ 5~20年	面積 60ha 本数 80,000本		府	昭和33年度一部駆除。BHC 粉剤及び燻煙剤にて駆除。
	和泉市		アカマツ クロマツ 5~40年	面積 40ha 本数 80,000本		府	昭和33年度微発生。BHC 粉剤及び燻煙剤にて駆除。
宮 崎	宮崎市		クロマツ 5~80年	面積 212.5ha 本数 378,000本	7.13	県	BHC γ 1%粉剤散布。
	小林市		クロマツ 6~31年	面積 18.5ha 本数 77,700本	7.15 7.25	県	〃
	日南市		クロマツ 5~12年	面積 5.27ha 本数 21,200本	7.29	県	〃
	東臼杵郡門川町		クロマツ 15年	面積 3ha 本数 9,000本	7. 8	県	学校有林に発生。 BHC γ 1%粉剤散布。

森林防疫ニュース

発生 の 場所	被害程度	樹 種 令	被 害 数 量	発見月日	情報提供者氏名	摘 要
宮 崎		クロマツ	面積 50ha 本数 200,000本	7.30	県	BHC γ 1%粉剤散布。
		クロマツ	面積 4.6ha 本数 17,500本	7.30	県	〃
		クロマツ	面積 52.3ha 本数 183,000本	7.30	県	〃
		クロマツ	面積 7ha 本数 28,000本	7.一	県	〃
		クロマツ	面積 1ha 本数 4,200本	7.一	県	〃
		クロマツ	面積 3.8ha 本数 16,800本	8. 3	県	公有林に発生。BHC γ 1% 粉剤散布。
		クロマツ	面積 15ha 本数 42,000本	8. 3	県	BHC γ 1%粉剤散布。
		クロマツ	面積 35ha 本数 140,000本	7.一	県	〃
		クロマツ	面積 30ha 本数 120,000本	7.一	県	〃
		クロマツ	面積 5ha 本数 17,000本	7.一	県	〃

○ ハラアカマイマイ

東 京	西多摩郡奥多摩町氷川	モミ	面積 1.2ha 本数 150本	6. 1	都 Sp.	堀口 武平	被害程度は激害である。
兵 庫	加西郡北条町大字坂本	モミ	面積 50ha 本数 350本	6. 1	北条町 Ag.	赤藤 勝	

○ マイマイガ

北海道	旭川局幌加内署 広泊苗畑（雨竜郡多度志村）	カラマツ	面積 2,300m ² 本数 800,000本	6.10	幌加内署	嵯峨 久作	他署より移入苗であるので 卵で移入されたと思われる。 BHC 粉剤で防除。
	檜山郡厚沢部村	カラマツ	面積 0.5ha 本数 1,200本		道		33年度においても発生した。
	檜山郡上ノ国村	カラマツ	面積 10.2ha 本数 18,900本		道		
	虻田郡倶知安町	カラマツ	面積 2ha 本数 6,800本		道		33年度においても発生している。
	芦別市	カラマツ	面積 90.2ha 本数 111,900本		道		激害23.1ha, 中害63.7ha, 微害3.4haである。
	雨竜郡北竜村	カラマツ	面積 16.47ha 本数 24,900本		道		激害5.17ha, 中害9.3ha, 微害2haである。
	美瑛市	カラマツ	面積 290.59ha 本数 209,300本		道		中害174.35ha, 微害116.24 ha である。
	雨竜郡多度志村	カラマツ	面積 15.32ha 本数 32,300本		道		
	空知郡上砂川町	カラマツ	面積 3.2ha 本数 8,600本		道		激害 2.7ha, 中害 0.2ha, 微害 0.3ha である。
	砂川市	カラマツ	面積 43ha 本数 85,000本		道		激害 9ha, 中害 34ha である。
	雨竜郡沼田町	中	面積 27.01ha 本数 70,000本		道		
	空知郡音江村	激	面積 100ha		道		
	上川郡東神楽村		面積 300ha 本数 600,000本		道		激害 220ha, 中害 70ha, 微害 10ha である。

森林防疫ニュース

発生 の 場 所		被害程度	樹 林 種 令	被 害 数 量	発見月日	情報提供者氏名	摘 要
北海道	上川郡東川村		カラマツ 8年	面積 46ha 本数 72,000本		道	激害 12.5ha, 中害 33.5ha である。
	上川郡神楽町		カラマツ 2~20年	面積 70ha 本数 140,000本		道	激害 40ha, 中害 30haである。
	上川郡上川町		カラマツ 4~7年	面積 3.5ha 本数 7,000本		道	33年度においても発生した。
	上川郡鷹栖村		カラマツ 8年	面積 6ha 本数 12,000本		道	激害 4.5ha, 中害 1.5haである。
	空知郡歌志内町	中	カラマツ 2~7年	面積 793ha 本数 1,189,500本		道	道有林に発生したものである。
	赤平市	中	カラマツ 2~7年	面積 746ha 本数 1,119,000本		道	〃
	美唄市	微	カラマツ 4~5年	面積 10ha 本数 1,500本		道	〃
	芦別市黄金	激	カラマツ 6, 7年	面積 1.5ha 本数 3,000本	6.11	道	針葉を幼虫が食害している。 BHC 粉剤散布。
	芦別市常盤		カラマツ 5~10年	面積 1.8ha 本数 1,400本	6.11	道	〃
	芦別市新城		カラマツ 6年	面積 2ha 本数 5,000本	6.8	道	針葉を幼虫が食害している。 BHC 粉剤散布。
茨城	日立市		オオシマザクラ, ヤシヤブシ 39~43年	面積 73.4ha 本数 210,000本	6.10	県 森林経営指導所 近藤 秀明	日立鉱業所所有林に発生。 耐煙性樹種として植栽した もので生長は悪い。
群馬	群馬郡倉淵村大字権田		カラマツ 15~20年	面積 20ha	6.12	権田担当区 野田 俊作	5月中旬より変色を認めていた。 現在虫体 3cm 位で樹葉を食害している。
新潟	前橋局六日町署六日町事業区(南魚沼郡塩沢町)		広葉樹(天) 17~44年	面積 37.91ha	6.中局		激害 2.1ha, 中害 3.3ha, 微害 32.51ha で激害地はBHC 粉剤又は燻煙剤により駆除。
	南魚沼郡塩沢町清水		スギ 5~40年 広葉樹 5~30年	面積 50ha	6.15	六日町 Ag. 久保 益偉	スギ 4haで幼令林は激害である。 広葉樹は 20ha 衰弱が甚だしい。 スギ幼令林には BHC γ 3%粉剤 ha 当り 50kg 2回散布。
	長岡市新沢		広葉樹(天) 11~20年	面積 150ha	6.19	県	緩斜地で1部スギ, マツも点在している。 被害防止のため1部自力駆除。
	三島郡越路町		広葉樹 11~20年	面積 250ha	6.19	県	一部自力駆除を行う。
	三島郡二和村		広葉樹 11~20年	面積 200ha	6.19	県	〃
	北魚沼郡広神村		広葉樹 1~30年	面積 300ha	6.19	県	耕地はホリドール, 山林にはBHCγ 3%粉剤散布駆除。
	南魚沼郡塩沢町長		スギ 5~40年 広葉樹 5~15年	面積 20ha 面積 114ha	6.16	県	BHC γ 3%粉剤及び燻煙剤により駆除。
	南魚沼郡塩沢町解沢		スギ 5~40年 広葉樹 5~20年	面積 24ha 面積 10ha	6.16	県	〃
	南魚沼郡塩沢町滝谷		広葉樹 5~25年	面積 10ha	6.16	県	〃
	南魚沼郡塩沢町一ノ沢		広葉樹 5~20年	面積 122ha	6.16	県	〃

森林防疫ニュース

発生場所	被害程度	樹林種令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
新潟 中頸城郡三和村 中頸城郡板倉村 中頸城郡清里村 中頸城郡中郷村 新井市		広葉樹 8~10年	面積 500ha 本数 2,500,000本	6.10	県高田市 武田 技師	一部自力駆除。
		広葉樹 8~10年	面積 500ha 本数 2,500,000本	6.10	〃	〃
		広葉樹 8~10年	面積 500ha 本数 2,500,000本	6.10	〃	一部激害地を自力駆除。
		広葉樹 8~10年	面積 800ha 本数 4,000,000本	6.10	〃	〃
		広葉樹 10年	面積 3,000ha 本数 15,000,000本	6.10	〃	〃
長野 下高井郡野沢温泉村市川		スギ、広葉樹 4~40年	面積 43ha	6.15	下高井地方事務所 滝津恵次郎	被害地は散在している。広葉樹は激害。
島根 飯石郡吉田村吉田	中	広葉樹 10年	面積 9ha	6.4	県 吉岡 技師	33年度発生したところである。昨年に比べ発生は少ない。
○ クササン						
宮城 加美郡中新田町下多田川		ク リ 14年	面積 0.2ha 本数 12,000本	6.7	中新田町 阿部 令五	葉及び新梢を食害している。
福島 南会津郡田島町大字荒海字藤生		ク リ 20~50年	面積 30ha 本数 3,500本	6.1	県 Sp. 佐々木 寛 田島林業事務所	老熟幼虫が葉を食害している。BHC 粉剤散布。
兵庫 三田市順応田		ク リ	面積 20ha 本数 500本	6.11	神戸林務出張所 前中 平示	樹葉を食害している。BHC γ 3% 粉剤散布及び捕殺。
岡山 久米郡久米町		ク リ 3~30年	面積 5ha 本数 2,100本	5.20	久米町 Ag. 水島 昌男	食害のため無葉の状態である。
吉備郡足守町掛畑吉・粟井・東山		ク リ 10~13年	面積 0.12ha 本数 25本	6.16	第73森林区 Ag. 服部 勲	本年始めて発生を見た。BHC 粉剤散布。
○ スギハムシ						
宮城 黒川郡大和町鶴巣		アカマツ 1年	面積 16ha 本数 55,000本	5.13	県 Sp. 早坂 義雄 久道 源吉	1本に4~5匹で食害し灰白色となっている。
三重 一志郡白山町		スギ、ヒノキ、クロマツ 1~10年	面積 450ha	5.30	県	1部広葉樹を混交する。駆除を行う予定。
奈良 御所市大字重阪及び古瀬		スギ、ヒノキ 5~7年	面積 5ha 本数 44,500本	6.9	御所市 Ag. 中谷 勲	防除の適期を失したので所有者の認識を指導。BHC γ 3% 粉剤散布予定。
御所市大字関屋		スギ、ヒノキ、クロマツ 5~8年	面積 79ha 本数 474,000本	6.10	御所市 Ag. 中谷 勲	水源林造成地で30年度発生以来その都度駆除を行って来た。一部には補植2回目と云うケ所もある。駆除を行う予定。
北葛城郡香芝町穴虫、当麻村加守		アカマツ(天) 6~8年	面積 14.4ha 本数 99,200本	6.10	高田市 Ag. 楠井 久喜	28年以来4回目の発生で防除の徹底で成林しているが一部被害が残っている。30cm平方で3~5匹採集、駆除予定。
高市郡明日香村東山及び上村		スギ、ヒノキ 4~6年	面積 31ha 本数 374,000本	6.15	第5森林区 Ag. 松岡善之助	32年度より被害面積を拡大している。燻煙剤防除予定
広島 大阪局広島署広島事業区(安佐郡可部町冠山官造地)		スギ、ヒノキ、クロマツ 3~5年	面積 200ha	6.9	可部担当区 楠原 整治	31年度より毎年発生している。
大分 東国東郡国東町		スギ、ヒノキ 3年	面積 0.2ha 本数 600本	6.15	県	防風林に発生。自力駆除を行う。

1959

森林防疫ニュース

- ハイロカミキリ
○ ヨツボシヒゲナガカミキリ

発生 の 場所	被害 程度	樹 林 種 令	被 害 数 量	発見 月 日	情報提供者氏名	摘 要
北海道 旭川局達布署達 布事業区47林班 (留萌郡小平村 達布)		トドマツ 10~ 120年	面積 3ha 本数 100本 材積 100m ³	6.15	達布署 川崎 孝義	32, 33年度直営生産皆伐地 周辺のトドマツ小枝に穿孔 し枝葉は赤く枯死してい る。穿孔部は主として樹冠 の中部以下である。

○ キイロコキクイムシ

兵 庫 鳥 取	出石郡出石町大 字町分 鳥取市三津町 鳥取市中茶屋町 鳥取市湖山 鳥取市湖山 鳥取市瀬田蔵 西伯郡大山町 日野郡溝口町	マ ツ 250年 クロマツ 11~20年 クロマツ 11~20年 クロマツ 41~50年 クロマツ 11~20年 アカマツ 11~20年 アカマツ 41~50年 アカマツ 41~50年	本数 1本 材積 30m ³ 面積 0.02ha 本数 40本 材積 1m ³ 面積 0.01ha 本数 3本 材積 0.1m ³ 面積 0.01ha 本数 7本 材積 2m ³ 面積 0.15ha 本数 12本 材積 0.1m ³ 面積 0.01ha 本数 2本 材積 0.2m ³ 面積 40ha 本数 50本 材積 15m ³ 面積 80ha 本数 100本 材積 30m ³	6.10 5.23 5.23 5.28 5.28 6. 4 7. 5 7.10	出石町 湯口 漱 県 県 県 県 県 県 県 県	日増しに枯死している。 伐倒はく皮焼却。 伐倒はく皮焼却。 伐倒はく皮焼却。 伐倒はく皮焼却。 伐倒はく皮焼却。 伐倒はく皮焼却。 伐倒はく皮焼却。
------------	---	---	---	--	--	---

○ キイロコキクイムシ

○ マツキボシゾウムシ

鳥 取	鳥取市黒仁 鳥取市高住 鳥取市瀬田蔵	アカマツ 11~20年 アカマツ 11~20年 アカマツ 11~20年	面積 0.5ha 本数 20本 材積 0.6m ³ 面積 0.3ha 本数 20本 材積 0.3m ³ 面積 0.01ha 本数 1本 材積 0.1m ³	5.29 5.29 6. 4	県 県 県	伐倒はく皮枝条焼却。 伐倒はく皮枝条焼却。 伐倒はく皮枝条焼却。
-----	--------------------------	--	--	----------------------	-------------	--

○ マツノキクイムシ

神奈川	津久井郡津久井 町大字大平	アカマツ 40~45年	面積 40ha 本数 40,000本 材積 5000m ³	6. 5	津久井地方事務所 斎藤 勲	現在完全に枯死しているも のは2割程であるが、枯れ はじめたものの樹皮下に成 虫幼虫が多数発見された。
-----	------------------	----------------	--	------	------------------	--

○ キイロコキクイムシ

○ マツノキクイムシ

鳥 取	鳥取市小沢見	アカマツ 21~30年	面積 0.01ha 本数 2本 材積 0.3m ³	6. 3	県	伐倒はく皮焼却。
-----	--------	----------------	--	------	---	----------

森林防疫ニュース

- マツキボシゾウムシ
- キイロコキクイムシ
- マツノキクイムシ

発生場所	被害程度	樹種令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
鳥取 鳥取市堀越		クロマツ 11～20年	面積 0.15ha 本数 40本 材積 3m ³	5.28	県	伐倒はく皮焼却。
鳥取市中茶屋		クロマツ 31～40年	面積 0.01ha 本数 1本 材積 0.2m ³	5.28	県	伐倒はく皮焼却。
鳥取市三津		クロマツ, アカマツ 11～20年	面積 2ha 本数 50本 材積 2m ³	6.3	県	伐倒はく皮焼却。

- キイロコキクイムシ
- マツノコキクイムシ

島根 邑智郡邑智町大字浜原, 沢谷	中	アカマツ (天) 40～50年	面積 10ha 材積 15m ³	6.12	県	吉岡 技師	広葉樹林中に点在するアカマツの梢端から赤褐色に変色し枯れている。
-------------------	---	-----------------------	--------------------------------	------	---	-------	----------------------------------

- スギノコキクイムシ

三重 伊勢市藤里町		スギ 4～7年	面積 1ha 本数 50本	6.10	伊勢林業事務所 世古 覚	10～35度傾斜の東西斜面のスギ林中に点在している。
-----------	--	------------	------------------	------	-----------------	----------------------------

- トドマツクイムシ
- ヤツバクイムシ

北海道 帯広局白糠署白糠事業区38林班(白糠郡白糠町) 新冠郡新冠村		トドマツ エゾマツ	本数 50本 材積 70m ³	6.9	白糠署	33年に製品した事業地で針広混淆の中の択伐したヶ所である。
静内郡静内町		トドマツ エゾマツ 10～150年	面積 350ha 材積 2,946.8m ³		道	風倒木に発生したものである。
三石郡三石町		トドマツ エゾマツ 10～150年	面積 75ha 材積 2,410.3m ³		道	〃
浦河郡浦河町		トドマツ エゾマツ 10～150年	面積 1,168ha 材積 22,240m ³		道	〃
様似郡様似町		エゾマツ トドマツ 10～150年	面積 1,386ha 材積 17,875.4m ³		道	風倒木に発生したものである。
沙流郡日高町		〃	面積 945ha 材積 10,302.7m ³		道	〃
沙流郡平取村		〃	面積 34ha 材積 194.6m ³		道	〃
幌泉郡幌泉町		〃	面積 60ha 材積 500.4m ³		道	〃
上川郡上川町		〃	面積 227ha 材積 1,112m ³		道	〃
上川郡東川村		〃	面積 972ha 材積 49,540m ³		道	道有林の風倒木に発生した。
浦河郡浦河町		〃	面積 50ha 材積 1,612m ³		道	〃
様似郡様似町		〃	面積 1,490ha 材積 32,192.4m ³		道	〃
		〃	面積 785ha 材積 42,478.4m ³		道	〃

1959

森林防疫ニュース

- キイロコキクイムシ
- マツカワノキクイムシ
- マツノコキクイムシ

発生 の 場所		被害程度	樹 種 林 令	被 害 数 量	発見 月 日	情報提供者氏名	摘 要
鳥 取	岩美郡岩美町大字陸上		アカマツ 30年	面積 0.01ha 本数 11本 材積 8.9m ³	6.15	東部山林事務所 金谷 則雄	10本は完全に枯れ、1本は1部枯れている。
○ トドマツオオキクイムシ							
○ ヒバノキクイムシ							
和歌山	西牟婁郡中辺路町大字道湯川		スギ, ヒノキ, マツ, モミ, ツガ 30~50年	面積 5ha 本数 4,000本 材積 1,000m ³	6.2	中辺路町 Ag. 深見 修司	伐倒木を利用するまでの間に穿孔食害している。
○ 松くい虫							
福 島	白河市南湖		アカマツ 200~ 250年	面積 0.4ha 本数 15本 材積 43m ³	5.29	県	大蔵省所管の公園地内の老松に発生している。
○ マツノキハバチ							
福 島	南会津郡田島町大字荒海		アカマツ 5~25年	面積 11ha 本数 870本	5.31	県 田島林業事務所	BHC 粉剤により駆除予定。 一部枯損木あり。
	東白川郡塙町大字台宿字滝沢		アカマツ 10年	面積 0.7ha 本数 2,000本	6.1	県	BHC 粉剤駆除予定。
	東白川郡棚倉町大字越河字座当		アカマツ 10年	面積 6ha 本数 11,000本	5.27	県	BHC 粉剤散布予定。
	東白川郡棚倉町大字越河字株決		アカマツ 10年	面積 1ha 本数 900本	5.27	県	BHC 粉剤散布予定。
	前橋局若松署若松事業区(南会津郡田島町)		アカマツ 31~40年	面積 3ha 本数 1,400本	5.23	県	燻煙剤により発見後直ちに駆除。
	前橋局若松署若松事業区(会津若松市大戸町)		アカマツ 6~10年	面積 0.2ha 本数 100本	5.28	県	"
	前橋局山口署間岸山官造地(南会津郡南郷村)		アカマツ III令級	面積 12ha 本数 200本	6.15	県	部分的に発生し針葉を食害。BHC 粉剤散布。駆除効果大。
長 野	長野局岩村田署岩村田事業区(北佐久郡軽井沢町)		アカマツ 10年	面積 5ha 本数 500本	6.5	岩村田署 内堀 祐治	現在幼虫は四散している。
鳥 取	気高郡青谷町		アカマツ 1~10年	面積 4.89ha 本数 17,600本	4.25 5.3	県	BHC γ 3% 粉剤散布。
	日野郡日南町		アカマツ 1~5年	面積 10ha 本数 25,000本	5.6	県	マラソン 2% 粉剤を 90kg 散布。
	西伯郡大山町		アカマツ 6~10年	面積 30ha 本数 30,000本	5.6	県	BHC 粉剤を ha 当り 30kg 散布。
○ クリタマバチ							
岩 手	青森局宮古署宮古事業区(宮古市)		ク リ	面積 1,000ha	5.28	重茂担当区 小関 孝	広葉樹中のクリに被害が発生している。
	青森局宮古署宮古事業区(下閉伊郡山田町)		ク リ	面積 150ha 材積 556m ³	6.12	豊間根担当区 菊池 正	広葉樹林中のクリに被害が発生している。

森林防疫ニュース

発生 の 場所	被害程度	樹種令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘 要
福 島 双葉郡浪江町		クリ(天) 5~30年	面積 650ha 材積 500m³	5.15 県		薪炭林中のクリに発生。伐採駆除。ゴール採取予定。
前橋局原町署原町事業区(相馬郡飯館村)		クリ(天) 5~30年	面積 145ha	5.29 局		ゴール採取。
前橋局原町署原町事業区(原町市)		クリ(天) 3~200年	面積 3,500ha 材積 58,380m³	6. 8 局 信田沢担当区	鈴木 勲	樹葉が疎着している。ゴール採取。
相馬郡飯館村		クリ(天) 2~50年	面積 2,000ha	6.10 飯館村	Ag. 小林 吉寿	昨年1部発生したものより蔓延したものである。冬期伐倒しゴール焼却予定。
茨 城 東茨城郡		クリ(人) 4~50年	面積 461.69ha 本数 30,520本 材積 1,390m³	4.30 県		ゴール採取, 枝条伐採焼却。
久慈郡		ク リ 10年	面積 6.94ha 本数 2,600本 材積 56.99m³	5.25 県		〃
笠間市		クリ(人) 10~15年	面積 0.99ha 本数 200本 材積 13m³	4.10 県		ゴール採取, 枝条伐採焼却。
西茨城郡		クリ(人) 5~10年	面積 23.8ha 本数 4,200本 材積 286m³	4.10 県		〃
鹿島郡		クリ(人) 7~40年	面積 2.77ha 本数 948本 材積 24.46m³	4.10 県		〃
新治郡		クリ(人) 5~35年	面積 327.36ha 本数 60,500本 材積 3,670m³	5. 1 県		〃
結城市		クリ(人) 5~20年	面積 4.96ha 本数 2,000本 材積 278m³	4.10 県		〃
北相馬郡		クリ(人) 5~20年	面積 9.9ha 本数 5,100本 材積 1,921.69m³	5.13 県		〃
水海道市		クリ(人) 5~20年	面積 9.92ha 材積 556m³	4.10 県		〃
下館市		クリ(人) 5~16年	面積 4.96ha 材積 278m³	4.10 県		〃
結城郡		クリ(人) 5~20年	面積 14.88ha 本数 6,000本 材積 834m³	4.10 県		〃
下妻市		クリ(人) 5~16年	面積 9.92ha 本数 4,000本 材積 556m³	4.10 県		〃
真壁郡		クリ(人) 5~16年	面積 19.84ha 本数 8,000本 材積 1,112m³	4.10 県		〃
猿島郡		クリ(人) 10, 15年	面積 1.66ha 本数 800本 材積 7.78m³	4.10 県		〃
栃 木 前橋局大間々署足尾事業区(安蘇郡田沼町)		クリ(天) 10~30年	面積 15ha 材積 54m³	5.13 局		被害木の伐倒枝条焼却予定
群馬 前橋局大間々署大間々事業区(桐生市川内町)		クリ(天) 10~30年	面積 12ha 材積 54m³	5.15 局		〃
前橋局大間々署大間々事業区		クリ(天) 15~40年	面積 10ha 材積 18m³	5.13 局		〃

森林防疫ニュース

発生の場所		被害程度	樹種令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
群馬	(勢多郡黒保根町)						
	前橋局大間々署 大間々事業区 (桐生市梅田町)		クリ(天) 10~30年	面積 8ha 本数 2,000本 材積 36m ³	5.13	局	被害木の伐倒枝条焼却予定
新潟	中頸城郡		クリ(天) 1~10年	面積 5,200ha 本数 33,200,000本 材積 8,500m ³	5.1	県	野性シバクリに発生。改良品種普及並びに天敵の保護を図る。
	新井市		クリ(天) 1~10年	面積 100ha 本数 900,000本 材積 170m ³	5.1	県	〃
	直江津市		クリ(天) 1~10年	面積 100ha 材積 170m ³	5.1	県	改良品種の普及並びに天敵の保護を図る。
	西頸城郡		クリ(天) 1~10年	面積 100ha 材積 170m ³	5.1	県	〃
	東頸城郡		クリ(天) 1~10年	面積 6,900ha 材積 11,500m ³	5.1	県	〃
	小千谷市		クリ(天) 5~20年	面積 2,200ha 材積 3,600m ³	5.1	県	〃
	北魚沼郡		クリ(天) 5~20年	面積 734ha 材積 1,381m ³	5.1	県	〃
	中魚沼郡		クリ(天) 5~20年	面積 30ha 材積 182m ³	5.1	県	〃
	新津市		クリ(天) 5~20年	面積 1,000ha 材積 1,500m ³	5.1	県	〃
	五泉市		クリ(天) 5~20年	面積 1,000ha 材積 1,500m ³	5.1	県	〃
	両津市		クリ(天) 5~20年	面積 40ha 材積 120m ³	5.27	県	〃
	長野	下高井郡木島平村		クリ(天) 5~25年	面積 200ha	6.5	下高井地方事務所 滝津恵次郎
長野局松本署松本事業区(南安曇郡梓川村)			クリ 53年	面積 3ha 材積 400m ³ 本数 1,200本	6.6	梓担当区 小山 勝巳	区域内の全林木にゴールが見られる。
岐阜	吉城郡神岡町		クリ 10~25年	面積 400ha 本数 21,000本 材積 4,600m ³	6.3	神岡町 Ag. 村下 邦之	ゴールが新梢に見られる。
高知	高知局窪川署窪川事業区(高岡郡窪川町)		クリ 14年	面積 0.5ha 本数 150本	6.10	大吉苗畑 秋山清一郎	標高 240m の苗畑上のクリにゴールが出来、中に幼虫が見出される。
○ スギタマバエ							
新潟	前橋局六日町署六日町事業区(南魚沼郡湯沢町)		スギ 7~9年	面積 52.34ha 本数 72,200本	6.中	局	発見当時害虫名不詳、同定の上薬剤防除見込。
	大分	南海部郡蒲江町		スギ 2~30年	面積 30ha	6.15	蒲江町 望月 庄七
○ スギノハダニ							
福島	双葉郡楡葉町大字井出		スギ 8年	面積 0.5ha 本数 1,000本	6.10	富岡林業事務所 Ag. 山内 市蔵	樹高の3~4m 梢端1/3~1/2が黄茶色に変色している。
栃木	前橋局矢板署塩原事業区(矢板市塩田)		スギ 1~5年	面積 8ha 本数 24,000本	6.21	局	7月上旬ネオサッピラン散布。

森林防疫ニュース

発生場所	被害程度	樹種令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
茨城		スギ 6~11年	面積 2.5ha	6.25	局	ネオサップピラン粉剤散布。
		スギ 3~10年	面積 5.5ha	6.25	局	〃
		スギ 8~9年	面積 19.84ha 本数 72,000本	7.2	県	マラソン粉剤 ha 当り30kg 散布。
		スギ 4~20年	面積 49.6ha 本数 180,000本	7.2	県	駆除計画中。
		スギ 3~20年	面積 11.9ha 本数 48,000本	7.2	県	〃
		スギ 5~6年	面積 19.84ha 本数 50,000本	6.18	県	〃
		スギ 5年	面積 1.5ha 本数 3,000本	6.1	佐渡林業事務所 Ag. 羽深 輝雄	針葉は黄色を呈している。
新潟		スギ 5~10年	面積 60.13ha 本数 48,210本	6.15	敦賀署長 熊野 信義	昨年も発生 14ha に対しネオサップピラン粉剤 ha 当り30kg 散布。
福井		スギ 2~10年	面積 100ha	6.1	第一森林区 Ag. 広瀬 寿	密植又は下刈不十分の箇所が多い。カプトンにより防除。
京都		スギ 5年	面積 1ha 本数 3,000本	6.1	三和町 川村 健	
三重		スギ 4年	面積 0.3ha 本数 1,800本	5.22	県	駆除実施予定。
		スギ 3年	面積 0.5ha 本数 3,000本	6.1	上野林業事務所 佐々木 甚太郎	密植施肥林で黄褐色に変色している。
		スギ 3~6年	面積 400ha 本数 240,000本	6.4	阿波森林組合	現在孵化直後である。
		スギ 4~8年	面積 4ha 本数 15,600本	6.5	尾鷲林業事務所 久保 勇	DN粉剤散布。
奈良		スギ 3~5年	面積 100ha 本数 500,000本	6.9	布引森林組合長 馬岡 清也	茶褐色に変色している。
		スギ、ヒノキ 6~10年	面積 1ha 本数 9,000本	6.10	第6森林区 Ag. 中谷 勲	針葉は緑褐色を呈している。
和歌山		スギ 8年	面積 1.5ha 本数 500本	6.4	印南町 Ag. 片家美喜夫	針葉は黄変しつつある。
		スギ 6~7年	面積 2.3ha 本数 7,000本	6.3	高野署 平間 悦治	枝葉が黄茶褐変している。
鳥取		スギ 3~10年	面積 30ha 本数 63,000本	4.下	県	ネオサップピラン乳剤 ha 当り150gr 又は DN粉剤 ha 当り20kg 散布。
岡山		スギ 7年	面積 4ha 本数 12,000本	6.8	旭町 Ag. 矢吹 郷志	枝葉に付着している。
		スギ 1~10年	面積 120ha 本数 60,000本	6.8	第40森林区 Ag. 江見 英	針葉は黄変し白色粉状物が見られる。
		スギ 4年	面積 0.02ha 本数 70本	5.10	笠岡農林事務所 Ag. 守谷 孝正	採穂台木に発生している。
		スギ 4~6年	面積 2ha 本数 6,000本	6.3	第37森林区 Ag. 岡 滋	針葉は変色している。
高知		スギ	面積 26.95ha	6.12	船戸担当区 中平 尊敏	植壤土の成育良好な地域に

森林防疫ニユース

発生 の 場所	被害程度	樹 種 林 令	被 害 数 量	発見 月 日	情報提供者氏名	摘 要
高 知 崎事業区55林班 (高岡郡東津野 村大字鳥出川)		6~10年	本数 37,500本			発生。現在被害は軽微だが被害は拡大の見込み。隣接民地にも発生している。
高岡郡窪川町大字米奥		スギさし 木苗1年	面積 0.1ha 本数 50,000本	6.15	窪川町 野島 昌幸	苗畑に発生、枝葉黄灰色に変色している。
高知局須崎署須崎事業区(高岡郡東津野村芳生野)		スギ 9~10年	面積 23.12ha 本数 45,000本	6.15	船戸担当区 中平 尊敏	33年度発生しマラソン粉剤を散布防除した。一部を除き未だ黄変していない。
宮 崎 小林市大字北西方		スギ 11年	面積 20ha 本数 50,000本	6.1	西諸県農林事務所長	
日南市		スギ 20年以下	面積 90ha 本数 90,000本	6.9	南那珂農林事務所	
串間市		スギ 20年以下	面積 40ha 本数 40,000本	6.9	〃	
南那珂郡南郷町		スギ 20年以下	面積 25ha 本数 25,000本	6.9	〃	
南那珂郡北郷町		スギ 20年以下	面積 15ha 本数 15,000本	6.9	〃	
○ スギタマバエ						
○ スギノハダニ						
岐 阜 郡上郡大和村		スギ 2~20年	面積 40ha	6.15	大和村 Ag. 永田 敏夫	20年前後にスギタマバエが多く見られる。
○ トドマツノハダニ						
北海道 旭川局留萌署留萌事業区(増毛郡増毛町新信砂)		トドマツ 2~3年	面積 10ha 本数 30,000本	6.12	局	新葉に多く附着している。フェンカプトン噴霧。
○ ハダニ科の1種						
京 都 相楽郡山城町大字平尾		マツ 35年	本数 1本	6.8	木津事務所 田川富士雄	庭木に発生。スギノハダニに似ている。針葉淡黄色に変色。
獸 害						
○ ノネズミ						
北海道 旭川局枝幸署枝幸事業区(枝幸郡枝幸町)		ヤチダモ 3.6年	面積 5.33ha 本数 1,950本	4.一	局	防鼠溝, 毒餌散布。
青 森 青森局脇野沢署脇野沢事業区(下北郡脇野沢村)		クロマツ 1令級	面積 3ha 本数 7,800本	6.4	脇野沢村 山形栄之進	根元及び梢端を食害されている。被害木の24%は枯死せず生育している。
高 知 高知局安芸署安芸事業区4林班(安芸市奈比賀)		ヒノキ 5年	面積 2ha 本数 400本	6.8	安芸担当区 小野川未喜	処によつては地上1mのカ所も食害している。防除対策計画中。
○ ノウサギ						
北海道 旭川局下川署下川事業区(上川郡下川町)		信州カラ マツ 1~3年	面積 5ha 本数 11,150本	4.一	局	ワナによる捕殺をなす。
旭川局深川署深川事業区(雨竜郡雨竜村)		信州カラ マツ 2年	面積 6ha 本数 2,700本	4.10	局	〃

森林防疫ニュース

発生場所	被害程度	樹種令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
北海道	旭川局深川署深川事業区(雨竜郡北竜村)	信州カラマツ 2年	面積 8.3ha 本数 20,750本	4.10	局	ワナによる捕殺をなす。
	旭川局深川署深川事業区(旭川市神居町)	信州カラマツ 2年	面積 5.5ha 本数 8,000本	4.25	局	〃
	旭川局幾寅署幾寅事業区(勇払郡占冠村)	信州カラマツ 1~5年	面積 18.95ha 本数 6,300本	4.22	局	〃
宮城	青森局石巻署石巻事業区42林班(石巻市大字湊)	スギ 1年	面積 1.34ha 本数 2,000本	5.1	石巻担当区 佐藤 英男	新芽を食害枯死している。

〇 クマ

長野	長野局飯田署飯田事業区248林班(下伊那郡豊丘町)	ヒノキ 30~50年	面積 20ha 本数 600本	6.4	豊丘担当区 大谷 安昌	地上より1~1.5mの樹皮をはく皮している。比較的大径優良木に被害が特に多い。
京都	京都市左京区久多上の町滝谷	スギ, ヒノキ 25~100年	面積 100ha 本数 1,000本	6.14	京都林務出張所 井上 雅晴	生育良好な樹に被害多く周囲を剥皮し枯死するので早期発見伐採につとめている。

刊行物紹介

- 日本林学会 日本林学会誌 7月号 1959
西口 親雄: ドイツトウヒ穿孔虫の群構成と季節的発生消長
植物防疫協会 植物防疫 8月号 1959
稲賀 恒: 土壤消毒機の種類と使い方
鈴木 照磨: 乳剤の物理性と効力
植物防疫協会 植物防疫 9月号 1959
斎藤 哲夫: 害虫の誘引剤と忌避剤
農林省林業試験場 研究報告 No. 216 July 1959
井上 元則: 針葉樹を害するタマバエの研究(第1報)
野淵 輝: 琉球産数種のキクイムシについて
高知共済会 高知林友 10月号 1959
伊藤 武雄: 野ねずみの被害に気を付けよう
林業技術協会 林業技術 9月号 1959
今関 六也: 農用林と線虫害
竹越 俊文: マツクイムシその後
北見林友会 技術研究 No. 2 7月号 1955
谷田 恵司: ミスト機による薬剤散布の功程調査について
北見営林局 技術研究 No. 3 5月 1957
千葉 勝男: ミスト機型式別比較について
山崎 敏夫: 虫害防除薬剤地上散布の功程調査
北見営林局 技術研究 No. 4 12月 1957
野崎 等: 金華団地における野鼠被害状況について
相田 武: 穿孔虫の発生状況調査

- 函館緑友会 銀葉研究論文集 6月号 1958
江口 賢一: 嫌忌剤による野兎防除の一考察
渋谷 博: 野兎鼠被害の苗木に及ぼす影響について
農林協会 林野時報 9月号 1959
竹越 俊文: ノネズミの異状発生
日本応用動物昆虫学会 第3回シンポジウム記録 7月 1959
太田嘉四夫: 北海道の鼠害
宇田川竜男: 本州を中心とした鼠害
望月 正己: 裏日本の耕地における鼠害の実態
森 樊須: 野兎被害とその防除
松山 資郎: イノシシの害
葛 精一: 猿
武笠 耕三: 鳥害
池田真次郎: 野鳥類の害性についての一考察

訂正: 本誌 Vol. 8, No. 6 の Dryocoetinae の新種についての 100 頁, 分布表中上から 4・6・10・16・30 行(英文のみ数えて)は誤植につき削除, 22 行目の advenda を advena と訂正願います。

編集後記: 今月は林業試験場千葉技官によりストロブマツの葉さび病を解説していただきました。此処最近樹病関係の解説がなく昆虫関係のみを取り上げてきましたが、今日樹病で問題になっている葉さび病は興味深い解説です。又本号は、18 頁に及ぶ情報の記録を作りました。諸氏の御支援を感謝いたします。(編集委員)